

Moonlight Sonata Mov.1

サンプル・ピアノシモ
 エ・センツァ・ソルディーニ
 常にPPで
 そして弱音ペダルを使わずに

Piano Sonata No.14 "Moonlight" Mov.1 Op.27-2

和声の変化をより感じられるように
 わずかに間を取ると効果的です。
 (曲中の多くのところで同様の場所があります)

アダージョ・ソステヌート
 ゆっくりと・音の長さを十分に保って

Adagio sostenuto

この楽章は、全体を通して極めて繊細に、しかし、
 弱音ペダルを使わずに弾かなければならない

Si deve suonare tutto questo pezzo delicatissimamente e senza sordino

Ludwig van Beethoven

第1部

楽譜のペダルの指示はあくまで基本なので
 ハーフペダルや踏み変え回数を調整して「幻想的な」曲の雰囲気を作りたいです。

sempre *pp* e senza sordini

レガートにする指使いを記載しましたが
 難しい場合はペダルでつなげる方針として
 (54) 全て5でも大丈夫です。

わずかですが3~4小節目に起伏をつけることもできます。

テーマを響かせます。
 音源では、1回目は強くテンポもゆったりですが
 2回目は弱めて「こだま」のようにしています。
 それは次のクレッシェンドへの準備にもなります。

rit. 空間が広がってゆくようなイメージです。 *a tempo*

1回目

2回目

7~8小節目も起伏させると弾きやすくなると思います。

16分音符は8分音符3連の真ん中で弾きましょう。右手を小指側に寄せると弾きやすいです。

rit.

ここで長調になり、すぐに短調に戻ります。

明るい和音を印象づけるために、逆にほんの少し弱くしています。

9度が届かない場合左で取る選択肢も。右ですらして取ると月光の厳かなイメージが崩れやすいので。

この音で変わります。ペダルが濁らないようにしたいです。

少し強めに響かせて次の15小節目の和音で収めます。

ここは内声も変化しているのでわずかに歌わせることもできます。

バスに合わせてわずかに起伏させることもできます。